

期待されるミドルリーダーとその役割とは・・・



教育課題に的確に対応するため、地域・校内のリーダーとしての使命感を高めることを目的とした「教育課題に対応するためのリーダー養成研修講座」(年4回)が終了しました。参加した水戸教育事務所管内 21名の先生方は、1年間をかけて「学校グランドデザインを具体化するためのアクションプラン」を活用しながら、果たすべき役割等について考えを深めてきました。

アクションプランの作成に当たっては、現状を把握した上で、課題を洗い出し、子どもたちや教職員、学校を理想の姿に近づけるために、「誰に、何を、いつまでに、どのようにして、どうする」等の「学校運営参画意識の高揚」と「校内での人材育成」の視点で具体的な取組を考えました。そして、実践、評価、改善という一連の流れが意識できるようにと検討会を重ねてきました。また、講話や演習等を通して、学校の中核であるミドルリーダーとしての資質・能力の向上を図りました。

研修最終日である2月7日には、「城里町立石塚小学校 所 友紀 先生」「水戸市立千波中学校 安達 幸子 先生」の全体での実践発表、受講生同士のグループ協議による実践発表を行いました。

受講された先生方からは、「教育課題について、今までとは違う視点で考えることができた」、「グランドデザインと真剣に向き合う機会となった」、「組織的な対応と人材育成の重要性を改めて感じた」等、今後の学校運営について前向きな意見がありました。

水戸教育事務所としましても、受講された先生方のみならず、各校におけるミドルリーダーの先生方が、今後も、学校グランドデザインの具体化を目指し、学校運営の核としてさらに活躍されることを期待しております。



石塚小 所 友紀先生

千波中 安達 幸子先生

グループ協議

共に目指そう！学校グランドデザインの具体化

【講話】学校教育課長 岩城 和久

「子どもを中心に据える」

先生にとっても、保護者にとっても、共通に大切な存在なのは『子ども』です。★先生方がどんなことをしていて、どんな意識をもっているのか、★立場の弱い人をどう支えるか。ミドルリーダーは、そのようなことを意識しながら相互に“前向き”になる言葉を習慣にすることが大切です。

【講話】茨城大学副学部長 三輪 壽二 先生

ミドルリーダーは、①同僚性の構築力や②課題解決力が求められます。年齢的にベテランと若手に挟まれ、さらに、仕事の役割でも中間管理職として間に挟まれています。仕事が一番面白い時期でもあります。教職員間と良好な関係を築きながら、ミドルリーダーであることを自覚し、その役割を果たそうとする意欲や意識をもちましょう。